

■『おかやま建民力』結集大作戦が目指すこと

今日、世界各国における経済の急変や日本における政治経済見通しが非常に不透明な状況などの影響で、日本全国、特に地方における景気低迷の状況が続いています。

例に違わず、私たちの郷土おかやまでも、生産・雇用・サービス等あらゆる面での各種指標が伸び悩んでいます。特に、建設サービス関係は、景気動向による民間需要の低迷に加え、長年にわたる公共事業削減の影響などにより、状況はさらに厳しさを増しています。

こうした閉塞感が漂う状況から一刻も早く脱却し、地域社会の活性化と経済の活力を取り戻すため、今こそ建築士も立ち上がり、積極的にその役割を發揮するときです。

県内1万数千人の建築士や、また多くの建築関係者がこぞって協力し合い、その力を發揮し、郷土おかやまの活性化を図ることで、地域社会の発展を目指しましょう。

「おかやま建民力」：建築士や、また多くの建築関係者がこぞって協力し合い、その力を發揮すること。

■『おかやま建民力』が發揮する役割

「おかやま建民力」の役割は、それぞれの身近な地域で建築士等がその専門性を發揮し、都市や地域の景観保存や創造、歴史的建造物の保存継承、地域と生活者のニーズに応える住まいづくりなどで先導的な役割を果たし、それぞれの地域まちづくりに積極的に貢献すること、すなわち建築士会が推進している地域貢献活動の実践に積極的に取り組むことです。

すなわち、建築士会員を中心とする建築士が、その立脚点を《地域》において、〈ものづくり〉〈まちづくり〉〈生活づくり〉の3つの視点から導き出される実践活動、言い換えれば、生活空間を総合的にデザインすることに真剣に取り組むことです。

そのためには、建築士が職能的能力を最大限に發揮して、自らの日常業務をしっかりと遂行することと、関係者が連携し協力し合うことが大切です。

建築士としての専門性の發揮((社)日本建築士会連合会会長藤本昌也氏提言を参考に)

- ①「ものづくり」の視点から: 適正なコストによる良質な社会ストックづくりの実現に寄与する知識・能力を持ち合わせることで、新しい建築生産システムを再構築する実践活動
- ②「まちづくり」の視点から: 魅力ある都市デザインの実現に寄与する知識・能力を持ち合わせることで、都市生活を支える空間演出と優れた景観づくりを進める実践活動
- ③「生活づくり」の視点から: 生活者のニーズを踏まえた参加と共生を原理とした住まい・まちづくりの仕掛けづくり
に寄与する知識・能力を持ち合わせることで、消費者・ものづくり生産者・まちづくり関係者と協力して、快適で安心な地域づくりを進める実践活動

※共生: 人と自然、人と人、人と社会がより良く共に生きること

■『おかやま建民力』が行動すべきこと(3Hアクション)

(1)「おかやま建民力」の把握(アクションH1)

(社)岡山県建築士会がその中心となるとともに、率先して非会員建築士、また多くの建築関係者と連携・協力することが重要です。

まず最初に行わなければならないことは、連携・協力する建築士・建築家・設計士・建築士事務所・監理建築士・専攻建築士・建築業・建設業・大工・工務店・施工管理技士・職人・建築関係団体・建設関係団体などと様々に呼ばれる建築関係者、すなわち「おかやま建民力」の存在状況と活動状況などの実態を把握することが必要です。

(2)「おかやま建民力」の発信(アクションH2)

「おかやま建民力」の実態について、関係者間だけでなく社会一般にも広く公表することで、その役割りとともにそれぞれの地域の人々に再認識されることになります。

さらに、それぞれの地域で建民力を様々な面で發揮することで、「おかやま建民力」が地域社会からの信頼と評価を得ることが出来ます。

(3)「おかやま建民力」の發揮(アクションH3)

上記のような考え方で、「おかやま建民力」の実態を把握し、それを広く関係者内外に発信するとともに、その力を發揮して各地域の活性化に、また広く郷土おかやまの発展に寄与するような施策・事業を実施する。

そのためには、「おかやま建民力」が発揮できることの把握が必要であるが、これについては、県・市町村の総合計画、商工業等経済団体の計画提言、NPO等市民団体の活動などを広く調査・研究する中から抽出したうえで、関係者と協議しながら可能なことから取り組んでいくこととする。

今後3年間程度の期間を設定し、以下のような施策・事業の実施が考えられるが、具体的には本作戦を実行するメンバー（◆建's Cafe 6月号16頁で隊員を募集中）が決定次第検討し、広く会員にお知らせします。

想定される施策・事業(案)

- ①おかやま建民力向上のための施策
(会員増強、非会員とのネットワーク化など)
- ②おかやま建民力間の交流・連携
(各種集い、交流会、研究会など)
- ③おかやま建民力による社会貢献
(地域から信頼される専門家派遣、文化財等古建築調査など)

そして、このような活動の結果、「おかやま建民力」に対する社会の評価、認識、信頼を高め、さらに、そのことで建民力の中心である建築士の業務領域が拡大していくことが望まれるところである。

■ 行動計画

3Hアクションを計画的に実行し、効果的に成果が得られるよう行動計画(アクション・プログラム)を策定する。
アクション・プログラム(イメージにつき今後具体的に策定)

内 容		H22	H23	H24
『おかやま建民力』実態把握		*		
『おかやま建民力』発信事業		*	*	
『おかやま建民力』 発揮事業	①	*	*	*
	②	*	*	*
	③-1	*	*	*
	③-2	*	*	*

■ 作戦本部と行動部隊 (本会会報誌 建's Cafe 6月号 16頁で隊員募集中)

『おかやま建民力』結集大作戦の実施にあたっては、建築士会としては、本部役員と広く会員から募集したメンバーを中心とするほか、各部会、各委員会、各支部等が積極的に関わって、組織全体で積極的に行動することとする。

また、関係団体等に参加を働きかけ、協力を要請するほか、プレス発表など積極的に社会にアピールしながら作戦を実行する。

作戦実行のための部隊員は、いずれも自主的参加・ボランティア(会議等事務局から依頼する場合は実費弁償)で協力をお願いするものです。

●「おかやま建民力」結集大作戦の組織構成等

作戦本部

- ・本作戦の企画・調整、連絡、広報等を担当
- ・募集メンバーを含め10名程度で構成する
- ・会長が指名する役員のほか、部会、委員会、支部からの推薦者及び事務局担当で構成する
- ・月に1回の作戦本部会議を開催する

行動部隊

- ・主に作戦を実行する担当者(部隊員)で構成する
- ・募集メンバーを中心とする
- ・実施事業等の内容により、部会、委員会、支部メンバーが部隊員となることもある
- ・各作戦グループ毎に適宜うち合わせを行う